

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 30 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2009～2013

課題番号：21242007

研究課題名(和文) スペンサーコレクション絵入り本解題目録作成のための総合的調査研究

研究課題名(英文) Integral research study for annotated catalogue of Japanese illustrated books of the Spencer Collection

研究代表者

小林 健二 (KOBAYASHI, Kenji)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：70141992

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,400,000円、(間接経費) 10,320,000円

研究成果の概要(和文)：本研究はニューヨーク公共図書館スペンサーコレクションに所蔵される絵入り本の全容をつかむために、絵入り本解題目録の作成を目指して絵巻・絵本など絵入り写本類の調査研究を実施した。所蔵者の都合により悉皆調査は叶わなかったが、貴重な資料の調査と研究を進めることができ、その成果を『絵が物語る日本 ニューヨーク スペンサー・コレクションを訪ねて』と『アメリカに渡った物語絵 絵巻・屏風・絵本』、その英語版の報告書『Japanese Visual Culture Performance, Media, and Text』の三冊の論文集にまとめて刊行した。

研究成果の概要(英文)：In order to understand the whole picture of the Spencer Collection of the New York Public Library, this study conducted researches on the collection's Japanese illustrated scrolls and books aiming at publishing a critical bibliography. Though it was not allowed to view the entire collection because of the Library's condition, we could proceed research and study on significant pieces. As production of the research, three books, AMERICA NI WATATTA MONOGATARIE --EMAKI, BYOBU, EHON--, EGA MONOGATARU NIHON --SPENCER COLLECTION WO TAZUNETE-- and its English version JAPANESE VISUAL CULTURE --PERFORMANCE, MEDIA, AND TEXT-- were published.

研究分野：文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：絵入り本 絵巻 絵本 在外研究資料

1. 研究開始当初の背景

本研究の中心機関となる国文学研究資料館は、これまでに多くの在欧米日本文学資料を扱ってきたが、特にダブリンのチェスター・ピーティー・ライブラリに所蔵される絵巻・絵本の調査を館外研究者の協力のもと長年にわたって行い、その成果として2002年にチェスター・ピーティー・ライブラリと共編で『チェスター・ピーティー・ライブラリ 絵巻絵本解題目録(解題篇 P403・図録篇 P321)』(勉誠出版)を刊行した。これが一つの契機となり、チェスター・ピーティー・ライブラリに匹敵する有数の日本絵入り本コレクションである、スペンサー・コレクションの総合調査研究の機運が高まった。その頃、すでに科研費等により共同研究を実施していた研究者から情報を得て、短期間に効率よく実行できるよう計画されたものである。

2. 研究の目的

海外に流出した絵巻物や絵本、また絵入り版本は、現在の日本では見られなくなった稀覯本を多く含んでいる。それらの資料を無視しての日本文学・文化の研究はもはや不可能であるが、所在する文庫が遠隔の地にあり、また目録などが整備されていないことから、その研究は非常に困難であると言わざるを得なかった。在外の絵巻物・絵本・絵入り版本の正確な情報と内容の紹介が、国文学研究のみならず、美術史や文化史の上からも切望されている所以である。ニューヨーク公共図書館のスペンサーコレクションは、620余点に及ぶ世界有数の優れた日本前近代の絵入り本資料を所蔵しており、その内容は、文学・宗教・歴史・地理・記録・芸能・風俗・有職・本草など、多岐にわたり、その形態も絵巻・絵本・画帖・一枚物など実に多様である。このコレクションを総合調査研究することは、日本絵入り本史の研究に繋がると言っても過言ではなく、本研究はその全容をつかむため、絵入り本解題目録の作成を目的に計画された。ただし、コレクションの内、絵入り版本に限ってはロジャー・キーズによって英文による展示図録が刊行されているので、今回の調査対象は絵巻・絵本など絵入り写本約480点に絞った。

3. 研究の方法

本研究を実施するために次の方針をたてた。(1)スペンサーコレクションの資料を調査するに当たって、絵入り本に対応した書誌情報を記入できるカードを作製する。(2)対象となる資料について、調査カードによる書誌を中心とした調査を行い、また、所蔵者の許可を得てデジタル・カメラで簡易撮影を行う。(3)研究支援者を使用して調査済み書誌カー

ドの整理と、撮影した写真データの点検整理を行い、国内資料と比較照合して基礎作業に当たる。(4)調査対象の中から、希少性の高いもの、研究の必要性のあるものについては、各専門分野の共同研究員が資料的価値を検討する。(5)共同研究員が個別研究で得た研究成果を研究会で発表し、その内容を検討する。(6)得られた研究成果は国文学研究資料館編の刊行物や学術雑誌に掲載し、学界に発信する。以上の方法によって遂行されたが、これらは順次行われるのではなく、各年度にわたって同時並行して行われた。なお、対象となる資料が多岐多様にわたるため、各共同研究員が専門とする資料を分担する調査体制をとり、全体の統括を研究代表者が行った。また、大学院生をRAとして加えて計画の推進を図った。

4. 研究成果

本研究はスペンサーコレクション絵入り本解題目録作成のための基礎作業として計画されたが、調査を進める過程で所蔵者であるニューヨーク公共図書館の都合により出納不可の資料がかなりあることが判明し、悉皆調査による解題目録の作成は断念せざるを得なくなった。そこで、将来的な解題目録の作成を視野に入れた総合調査を進めながら、絵巻・絵本研究に有用な資料についての研究により重点を置くように緩やかな変更を図った。調査内容については研究会等で検討されたが、国文学のみではなく、歴史学や美術史学の研究者と意見交換をすることにより、学際的な成果をあげることができた。その成果は2014年3月に論文集『絵が物語る日本 ニューヨーク スペンサーコレクションを訪ねて』(三弥井書店)として刊行した。これは、スペンサーコレクションの調査研究を基に、絵巻・絵本など絵入り本研究の最新の課題と方法を提示することを目的に編んだ論集で、「製作の場」「享受と変容」「研究情報」の三部構成とした。「製作の場」では、絵巻や絵本が作られる場としての「工房」と製作に携わった「絵師」について、さらに江戸前期に興った出版文化における絵入り本の展開をテーマに7本の論文により多角的に論じた。「享受と変容」は、絵巻・絵本そして屏風絵など、さまざまなかたちで描出された物語が、享受者の手を経て変容を遂げて行く様相を「信仰・文芸・異文化」の三つの方面から論じた。詳しくは5「主な発表論文等」の〔図書〕を参照いただきたい。もう一つ、平成24年にニューヨークのコロンビア大学で行われたシンポジウム「日本の視覚文化 パフォーマンス・メディア・およびテキスト」に基づく研究成果について触れたい。このシンポジウムは、本研究による成

果を核として、日本の視覚文芸・文化を明らかにすることを目的に、「異界・異類の文学」「名所と文化の時空」「王朝文学の再生」「いくさがたりと女性」の四つの分野に分けて、スパンサー・コレクションをはじめ、メトロポリタン美術館、ボストン美術館などアメリカの美術館・図書館が所蔵する貴重な日本の絵巻や屏風、絵本について、日米の研究者たちが文学・美術史・歴史学・宗教学などさまざまな視点から解き明かしたものである。成果を、平成 25 年 3 月に『アメリカに渡った物語絵 絵巻・屏風・絵本』(ペリかん社)として出版し、また、その成果を国際的にも発信するため英語版の報告書『Japanese Visual Culture Performance, Media, and Text』(国文学研究資料館)も作成して刊行した。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 24 件)

小峯 和明、東アジアの伝文学・ブツダの物語と絵巻を読む 日本の『釈迦の本地』と中国の『釈氏源流』を中心に、論叢国語教育学、査読無、復刊 3 号、2012 年、120~128 頁。

武井 協三、"Kabuki and Buddhist Art", INTERNATIONAL CONFERENCE ON "TOWARDS ORIENTAL THEATRE STUDIES", 査読無、2012 年、7~12 頁。

高岸 輝、「天稚彦草紙絵巻」と室町土佐派絵巻の展開、説話文学研究、査読有、46 号、2011 年、99~110 頁。

小林 健二、『太平記』を題材とした絵巻・絵本 スパンサー・コレクション蔵『呉越物語』を中心に、説話文学研究、査読有、46 号、2011 年、87~99 頁。

山下 則子、"The Meaning of Caricature in Yellow-Bound Books", UKIYO-E CARICATURES, 査読無、2011 年、17~26 頁。

安原 眞琴、パーク・コレクション所蔵伝宮川長春画「薄雲物語」紹介 書誌と翻刻、立教大学日本文学、査読無、105 号、2011 年、46~52 頁。

徳田 和夫、白描『鼠の草子絵巻』の新出断簡について ハーバード大学本との対比、学習院女子大学紀要、査読無、13 号、2011 年、17~25 頁。

恋田 知子、室町の社寺縁起絵 『真如堂縁起』をめぐる、国文学解釈と鑑賞、査読無、955 号、2010 年、154~161 頁。

藤原 重雄、院政期の行事絵と 仮名別記・試論、文学、査読無、10 巻 5 号、2009 年、150~160 頁。

齋藤 真麻理、横行八足 岩嶽丸のこと、国文学研究資料館紀要、査読無、36 号、2010 年、29~64 頁。

[学会発表](計 26 件)

高岸 輝、室町時代の公武関係とコレクション、Treasure, Ritual and Repositories in the East and the West, 2013 年 11 月 24 日、チューリッヒ大学(スイス)

小峯 和明、日本と東アジアの 伝文学 釈迦の本地から、ハノイ大学創設 40 周年記念国際シンポジウム、2013 年 10 月 15 日、ハノイ大学(ベトナム) 招待講演

藤原 重雄、掛幅本「融通念仏縁起絵」によせて、説話文学会 50 周年記念大会シンポジウム 第 1 セッション「説話とメディア - 媒介と作用 -」、2012 年 6 月 23 日、立教大

ロベルタ・ストリッポリ、Spectres and Spaces in the Noh Drama (Panel Discussant), Conference of the European Association of Japanese Studies (EAJS). 2011 年 8 月 25 日、タリン(エストニア) 招待講演

山下 則子、幕末役者見立絵の見立て 『見立三十六歌撰』について、Publishing the Stage: Print and Performance in Early Modern Japan. 2011 年 3 月 5 日、コロラド大学ボルダー校(アメリカ) 招待発表

小林 健二、「舞の本絵巻」研究における諸問題、奈良絵本・絵巻国際会議、2010 年 8 月 22 日、聖徳大学

武井 協三、『役者絵づくし』のことなど、演劇研究会例会、2010 年 4 月 24 日、同志社大学

小峯 和明、志度寺縁起の竜宮と閻魔、志度寺縁起絵シンポジウム、2009 年 12 月 19 日、香川県立ミュージアム

石川 透、浅井了意・居初つたと奈良絵本・絵巻、奈良絵本国際会議、2009 年 8 月 29 日、甲南大学

[図書](計 24 件)

小林 健二 他、共著、三弥井書店、人間文化研究機構国文学研究資料館編『絵が物語る日本 ニューヨーク スパンサー・コレクションを訪ねて』、2014 年、360 頁のうち 9~22 頁(在外絵入り本研究の意義と展望)

(以下までは同上の共著書に掲載された論文)

1. ハルオ・シラネ、北米における前近代の日本美術研究とコレクション案内、23~40 頁。

2. 小林 健二、物語絵の方法 スパンサー・コレクション蔵『呉越物語』絵巻をめぐる、43~53 頁。

3. 黒田 智、弘法大師絵巻の中世、54~64

- 頁。
4. 藤原 重雄、「日吉山王利生記絵巻」復元的前提 僚巻模本の再発見、65～80頁。
 5. 石川 透、居初つなの小型奈良絵本・絵巻、81～88頁。
 6. 谷川 ゆき、土佐光信と水墨画、89～104頁。
 7. 江戸 英雄、挿絵を割り付ける原則と移し替え 『狭衣の草子』スパンサー本を例として、105～125頁。
 8. 宮腰 直人、金平地獄破り譚の形成と新生 『金平阿弥陀の光』を手がかりにして、126～140頁。
 9. 落合 俊典、スパンサー本の道範撰『五智五蔵等秘密抄』、143～156頁。
 10. 恋田 知子、経説絵巻の一展開 スパンサー・コレクション蔵『因果業鏡図』をめぐって、157～172頁。
 11. 高岸 輝、「日蓮聖人註画讃」の転写系統とスパンサー本の位置、173～186頁。
 12. 鈴木 淳、鍬形蕙斎画『黒本尊縁起絵巻』の考察、187～203頁。
 13. 寺島 恒世、変容する三十六歌仙絵藤房本の特異性、204～217頁。
 14. 安原 眞琴、ハーバード大学美術館所蔵「扇の草子」 永い眠りから目覚めた稀少な絵巻、218～228頁。
 15. 徳田 和夫、『岩屋の草子』初期奈良絵本の風流性 スパンサー本、天理本をめぐって、229～245頁。
 16. 和田 琢磨、近世における軍記物語絵巻の様相 『平家物語絵巻下絵』『根元曾我物語絵巻』『楠公一代絵巻』、246～259頁。
 17. ロベルタ・ストリッポリ、形見としての子供 『小敦盛』、260～272頁。
 18. 齋藤 真麻理、描かれた異境 明代日用類書と『山海異物』、273～288頁。
 19. 浅野 秀剛、遊女絵文化圏 スパンサー・コレクション「遊女画像絵巻」をめぐって、289～303頁。
 20. 小峯 和明、異文化交流と図巻 スパンサー本『蝦夷国風絵図』を中心に、304～317頁。
 21. 宮腰 直人、スパンサー・コレクション所蔵 絵入写本・絵巻解題・翻刻簡明目録、339～354頁。

ハルオ・シラネ 他、共著、ペリかん社、人間文化研究機構国文学研究資料館編『アメリカに渡った物語絵 絵巻・屏風・絵本』、2013年、264頁のうち20～36頁(物語絵・座敷・道端の文化 テキスト、絵、パフォーマンスの諸問題)

(以下10までは同上の共著書に掲載された論文)

1. 小峯 和明、龍宮をさぐる 異界の形象、38～48頁。
2. 齋藤 真麻理、鼠の祝言 視覚文化の中の御伽草子、49～62頁。
3. R・ケラー・キンブロー、鬼物語の不浄洞察 『酒吞童子絵巻』における遺骸描写、63～74頁。
4. 徳田 和夫、妖怪の形象 お伽草子絵巻の達成、90～104頁。
5. 高岸 輝、メトロポリタン本「北野天神縁起絵巻」の図像と様式、106～116頁。
6. 鈴木 淳、北斎画『東遊』におけるイメージとテキスト、130～140頁。
7. 寺島 恒世、歌人の絵姿 歌仙絵の成立と展開、142～152頁。
8. 石川 透、源氏絵・奈良絵本にみる王朝文化、153～163頁。
9. 小林 健二、絵画化された語り物の世界 「武文図屏風」をめぐって、194～205頁。
10. ロベルタ・ストリッポリ、無伴奏の歌、拍子無しの舞 近世の巻物と絵本に表現された白拍子、217～232頁。

〔産業財産権〕
出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小林 健二(KOBAYASHI, Kenji)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：70141992

(2) 研究分担者

齋藤 真麻理(SAITO, Maori)
国文学研究資料館・研究部・准教授
研究者番号：50280532

山下 則子(YAMASHITA, Noriko)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：40311162

鈴木 淳(SUZUKI, Jun)
国文学研究資料館・名誉教授
研究者番号：40162953

武井 協三(TAKEI, Kyozo)
国文学研究資料館・名誉教授
研究者番号：60105567

寺島 恒世(TERASHIMA, Tsuneyo)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：80143080

大友 一雄(OHTOMO, Kazuo)
国文学研究資料館・研究部・教授
研究者番号：30169007

江戸 英雄(EDO, Hideo)
国文学研究資料館・研究部・助教
研究者番号：50290870

(3)連携研究者

小峯 和明(KOMINE, Kazuaki)
立教大学・文学部・教授
研究者番号：70127827

石川 透(ISHIKAWA, Toru)
慶應義塾大学・文学部・教授
研究者番号：30211725

徳田 和夫(TOKUDA, Kazuo)
学習院女子大学・国際文化交流学部・教授
研究者番号：70044732

福原 敏男(FUKUHARA, Toshio)
武蔵大学・人文学部・教授
研究者番号：20156805

藤原 重雄(FUJIWARA, Shigeo)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：40313192

高岸 輝(TAKAGISHI, Akira)
東京大学・大学院人文社会系研究科・准教授
研究者番号：80416263

恋田 知子(KOIDA, Tomoko)
国文学研究資料館・研究部・助教
研究者番号：50516995

浅野 秀剛(ASANO, Syugo)

(財)大和文華館・大和文華館館長
研究者番号：70511137

キャンベル ロバート(CAMPBELL, Robert)
東京大学・総合文化研究科・教授
研究者番号：50210844